

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価																																																																																	
データ 分析 表	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">データ表</th> </tr> <tr> <th>内容</th> <th>項目数</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「乳児保育」</td> <td>15</td> <td>4.93</td> </tr> <tr> <td>「3歳未満児保育」</td> <td>32</td> <td>4.66</td> </tr> <tr> <td>「3歳以上児保育」</td> <td>53</td> <td>4.64</td> </tr> <tr> <td>「教育保育の配慮事項」</td> <td>16</td> <td>4.50</td> </tr> <tr> <td>「健康・安全」</td> <td>29</td> <td>4.83</td> </tr> <tr> <td>「子育ての支援」</td> <td>18</td> <td>4.22</td> </tr> <tr> <td>「職員の資質向上」</td> <td>9</td> <td>4.11</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>172</td> <td>4.62</td> </tr> </tbody> </table>		データ表			内容	項目数	平均	「乳児保育」	15	4.93	「3歳未満児保育」	32	4.66	「3歳以上児保育」	53	4.64	「教育保育の配慮事項」	16	4.50	「健康・安全」	29	4.83	「子育ての支援」	18	4.22	「職員の資質向上」	9	4.11	計	172	4.62	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">データグラフ</th> <th>0.00</th> <th>2.00</th> <th>4.00</th> <th>6.00</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「乳児保育」</td> <td>4.93</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>「3歳未満児保育」</td> <td>4.66</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>「3歳以上児保育」</td> <td>4.64</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>「教育保育の配慮事項」</td> <td>4.50</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>「健康・安全」</td> <td>4.83</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>「子育ての支援」</td> <td>4.22</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>「職員の資質向上」</td> <td>4.11</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>	データグラフ		0.00	2.00	4.00	6.00	「乳児保育」	4.93					「3歳未満児保育」	4.66					「3歳以上児保育」	4.64					「教育保育の配慮事項」	4.50					「健康・安全」	4.83					「子育ての支援」	4.22					「職員の資質向上」	4.11				
	データ表																																																																																
	内容	項目数	平均																																																																														
	「乳児保育」	15	4.93																																																																														
	「3歳未満児保育」	32	4.66																																																																														
	「3歳以上児保育」	53	4.64																																																																														
	「教育保育の配慮事項」	16	4.50																																																																														
	「健康・安全」	29	4.83																																																																														
	「子育ての支援」	18	4.22																																																																														
「職員の資質向上」	9	4.11																																																																															
計	172	4.62																																																																															
データグラフ		0.00	2.00	4.00	6.00																																																																												
「乳児保育」	4.93																																																																																
「3歳未満児保育」	4.66																																																																																
「3歳以上児保育」	4.64																																																																																
「教育保育の配慮事項」	4.50																																																																																
「健康・安全」	4.83																																																																																
「子育ての支援」	4.22																																																																																
「職員の資質向上」	4.11																																																																																
総合 評価	<p>今年度は、コロナ影響も軽減され、ノーマスクでの関わりや、一緒に食事ができる環境など、人との関わりに関する制限が和らぎ、保護者や園児との関わりにも変化が見られた。その中で、遊びや生活を通して、コミュニケーションやクッキング、行事やプロジェクト活動などを積極的に行うことができ、ねらいを持ち、環境への配慮、振り返りや思いを伝え合う嬉しさなど、体験の広がり・深まりを感じた。地域の方との繋がりもでき、これらを大切に来年度も、子どもを主とした教育・保育を展開していきたい。</p>																																																																																

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
職員・職員の 家族との「信頼」の 構築	<p>〔意欲ある職場環境〕 定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職場環境づくりの推進</p> <p>職員間で思いや意見を十分に伝え合うことができるように、定期的な職員会議、担当部署会議を開催する（12回/年）</p>
子ども・高齢者・ 障害者との「信任」 の構築	<p>〔虐待を発生させない体制づくり〕 虐待を発生させないことを目的に、チェックリストの活用等、職員が自己の「支援」について振り返る機会の提供</p> <p>子どもの『人権擁護のチェックリスト』を用いた養護に関わる園内研修を実施し、不適切な対応の発生を防ぐ（2回/年）</p>
地域の学校との 「信頼」の構築	<p>〔学校との相互理解〕 学校行事への参加や、園（施設）行事・自己評価事業への招待等、“顔と顔の見える関係（世間話ができる関係）づくり”に努め、相互理解を図る</p> <p>園行事や施設評価事業等に、地域の小学校の教諭や小学生を招き、関係を深めていく（2回/年）</p>